

別紙1

MICE サステナビリティ・サミットでの環境に配慮した実践例

1. MICE 会場運営会社の事例： サンズ エキスポ&コンベンションセンター

a) より持続可能な食

- イベントのケータリングでは、責任を持って調達されたシーフードや植物由来の代替食品など、持続可能なメニューを提供します。
- 国内外のブランドによる革新的な植物性代替食品をメニューに採用し、温室効果ガスの排出を最大 90%削減しています。
- イベントで提供されるコーヒーや紅茶は、フェアトレードまたはレインフォレスト・アライアンス認証のものを、ソフトドリンクはオーガニックまたはフェアトレード認証のものを使用しています。

b) 食品廃棄物管理

- ビュッフェでは通常の食堂よりも約 2 倍の食品廃棄物(注8)が発生することから、単品での提供に置き換えました。
- マリーナベイ・サンズのリサイクルドックでは、食べ残しの食品廃棄物を、以下のようなさまざまな技術で処理します。
 - イベント会場で出た生ゴミを**嫌気性処理機**で処理し、非飲料用の栄養豊富な中水に変換して、自治体の水道システムに廃棄します。この処理機は 24 時間で 5 トンの生ゴミを処理することができ、ゴミ廃棄場に捨てられるゴミの量を減らすことができます。毎日約 5 トンの生ゴミが、ゴミ廃棄場に破棄されずに済んでいます。
 - また、**リサイクルドック**では、毎日 38 トンに近い廃棄物を処理しています。そのうち、10トン近くがリサイクル品(リサイクル率 25%)で、この中には、紙、金属、プラスチック、ガラスといった従来のリサイクル品に加え、園芸や造園の切りくず、電子廃棄物、生ゴミなども含まれます。
 - ダンボールや紙などのリサイクル可能な素材を、積み重ねや運搬が容易なボールに圧縮してリサイクルする**カートンペーラー**(圧縮梱包機)を活用し、毎日 1.6 トン以上の紙やダンボールをリサイクルしています。

c) エネルギー管理・利用

- サンズ エキスポ&コンベンションセンターは、シンガポール国家環境庁(NEA)のグリーン化の助言(注9)に沿って、すべての照明をエネルギー効率の良い照明に置き換え、省エネのためにエアコンの室内温度を 25 度に設定して運転しています。
- サンズ エキスポ&コンベンションセンターは、2020 年にシンガポール初のカーボンニュートラルな MICE 会場として建設され、会場でのガスと電気の消費による二酸化炭素排出量の 100%を、シンガポール国内のさまざまな屋上太陽光発電プロジェクトの発電による再生可能エネルギー証書(RECs)を購入することでオフセットしています。

d) サーキュラリティ(循環性)

- 使い捨ての資材の使用を最小限に抑えています。
 - 参加者へのペンやメモ帳の配付をやめています。
 - 使い捨てのカトラリーや調理器具の使用を控えています。

- ペットボトル、マドラー、ストローを提供する代わりに、専用の給水所と再利用可能なカップを目立つ場所に設置し、それらの使用を推奨しています。
- 展示会場の外周には、プラスチック、紙、ガラス、金属ゴミのリサイクルボックスを設置し、参加者にリサイクルを呼びかけています。
- 会場内のレストランで回収されたリサイクルコルクを使用してテーブルナンバーを作成し、イベントで使用しています。
- 来賓のスピーチには、雑誌を再利用したストッパーと古い講演台を再利用した円形の講演台が使用されています。

e) イベントの環境フットプリント測定

- イベント終了後には、会場の予約スペースや、電気・冷水の使用量など、イベント全体の二酸化炭素排出量を追跡する「インパクトステートメント」を提供する予定です。また、プラスチック、アルミニウム、缶などの廃棄物の流れも報告書に記載されます。

f) サステナビリティ認証

- サンズ エキスポ&コンベンションセンターは、シンガポール建築・建設庁の「グリーンマーク認証制度」、Events Industry Council (EIC) の「サステナブル・イベント認証規格」、米国グリーンビルディング協会の「エネルギーと環境デザインにおけるリーダーシップ (LEED)」という、国内外で認知された 3 つの認証機関からプラチナ認証を獲得しています。同コンベンションセンターは、米国以外では EIC の最高ランク認定を受けた会場となっています。
- サンズ エキスポ&コンベンションセンターは、東南アジアの MICE 会場としては初めて、イベント産業のエンドツーエンドの持続可能性をサポートする国際規格である ISO 20121 イベントの持続可能性に関するマネジメントシステム認証を取得しました。

2. MICE イベントのオーガナイザーの事例: Uearthed Productions

a) サーキュラリティ(循環性)

- Uearthed Productions は、イベント主催者の要望である持続可能な方法でイベント開催を促進し、使い捨ての資材の使用を最小限に抑えています。
 - 受付テーブルなどの備品は、Uearthed Productions が過去に開催した MICE イベントで使用したものを可能な限り再利用しています。今後のイベントでも継続して再利用していきます。
 - カスタムメイドのストラップやプラスチック製のネームホルダーに代わり、再生紙を利用したステッカー名札を使用しています。
- イベントのオープニングでは、物理的な背景の代わりにデジタル背景を使用し、紙吹雪やリボンなどの装飾の使用は避け、資材の無駄を省いています。
- 展示ブースは、一回限りのブーススタンドに代わり、再生木材を利用した木製パレットを使用して設営されています。

b) 参加者への推奨

- 参加者の招待は、印刷した招待状を送る代わりに、ペーパーレスの電子登録方式を採用しています。
- 参加者の服装は、省エネのため会場が 25 度の室内温度で運営されていることを考慮し、ノースーツ、ノーネクタイを推奨しています。
- 参加者には、水筒の持参を推奨し、マリーナベイ・サンズが提供する専用の給水所で水を補給することができます。
- ギブアウェイやノベルティは提供していません。
- 参加者には、公共交通機関を利用して会場までお越しいただくことを推奨しています。

c) サステナビリティ認証

- Uearthed Productions は現在、イベント産業の持続可能性を支援する国際的に認められた規格である ISO 20121 イベントの持続可能性に関するマネジメントシステム認証を申請中で、2023 年初頭に認証を取得する予定です。

3. 国際的なカーボンプレジット取引所の事例：クライメート・インパクト X

- DBS 銀行、シンガポール取引所 (SGX グループ)、スタンダード・チャータード銀行、テマセク・ホールディングスが共同で設立した「クライメート・インパクト X」は、衛星モニタリング、機械学習、ブロックチェーンを活用して、パートナーのエコシステムをつなぎ、カーボンプレジット取引の透明性、完全性、品質を向上させることで、ボランタリーカーボン市場を拡大することを目的としています。
- この実現には、次のようなプロセスが用いられます。
 - イベントでの廃棄物や二酸化炭素の排出を減らし、それらの発生を避けるための対策がとられます。
 - イベント終了後、イベントの残留カーボンフットプリントを分析し、「削減対策なしの排出」を特定する予定です。
 - イベント終了後のアセスメントを経て、排出された二酸化炭素をオフセットするために、クライメート・インパクト X を通じて質の高いカーボンプレジットを購入する予定です。

(注8) [シンガポール国家環境庁、「MICE3R ツールキット」](#)

(注9) [シンガポール国家環境庁、「Go Green Tips」](#)